

表紙写真について



知的障害者グループホーム

●設 計／株式会社小西

建築設計事務所

●施 工／三和鉄構建設株式会社

●所在地／尾道市高須町

字坊士南側1170-10

●規 模／地上2階 550.43m²

●構 造／鉄骨造

●竣 工／2005年3月

尾道水道を望む丘の上に建つ、知的障害者グループホーム。「尾道ふくしむら」の隣に位置し、丘はひときわ高く、尾道の夏の風物詩である住吉花火を見ることができる。

建物はそれぞれ1・2階で1ユニット（定員7名）ずつの計2ユニット。平面はリビングを中心とした動線計画で、朝出勤し、夕方帰宅。住人がお互い家族のように顔を合わせて送り迎えができるプランである。クライアントからは「木」を使用した建物を…」と要望があり、『脱・施設化建築』を目指したデザインを試みた。ただし、福祉施設である以上、福祉の機能的ハード面を損なうことなく、また、ソフト面においても職員の方々の手助けが出来るようなプランニングとディテールに配慮して設計、監理を行った。

株式会社小西建築設計事務所 森川 順平

入会をお勧めください!

(事務局より)

平成17年度の建築士試験合格者の発表があり、県内で一級136名・二級223名・木造22名の建築士が誕生しました。

皆様の身近の「新建築士」の方へ、建築士会への入会をお勧めください。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか?

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ネガ、データ)2~3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。



社団法人 広島県建築士会

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1-8-4 日興ビル3F

TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840

mail: info@k-hiroshima.or.jp

URL: http://www.k-hiroshima.or.jp/

2006 Information Calendar 3月・4月の行事予定

3 March

- 4 土・建築なんでも探建隊
(福山支部女性部会)
・常任幹事会(東広島支部)
・スキー交流会(広島支部)
- 7 火・「鋼構造設計基準」改定講習会
(問合先:日本建築学会中国支部
082-243-6605)
- 8 水・住宅性能保証制度説明会
(広島県民文化センター)
・青年部会定例会(尾道支部)
・青年部・女性部会定例会
(呉地区支部)
- 10 金・女性部会定例会(福山支部)
- 11 土・県外研修会(石川瓦工 島根
グラントワ)(呉地区支部)
- 16 木・常任幹事会(福山支部)
- 19 日・奥田元宋・小由女美術館完成見
学会(県北支部)



4 April

- 1 土・二級・木造建築士試験インターネット受付(~7日まで)
- 2 月・二級・木造受験申込書配布
~14日まで
- 8 土・一級建築士製図対策講座
(福山支部青年部会)
- 9 日・一級建築士製図対策講座
(福山支部青年部会)
- 10 月・二級・木造建築士試験対面受付
(~14日まで)
- 12 水・青年部会定例会(尾道支部)
- 14 金・常任幹事会・幹事会(福山支部)
- 15 土・一級建築士合格祝賀会
(福山支部)
- 17 月・一級建築士試験インターネット受付(~28日まで)
- 24 月・一級受験申込書配布
~5月12日まで
- 27 木・講習会「T&C防食工法」セミナー
(広島支部)

MONTHLY 建築士

HIROSHIMA



「佐久間家住宅」

広島支部 カトウ建築設計 加藤 早苗
http://www.geocities.jp/kominka_kenkyu/

建築用途 農家、醸造業
 所在地 双三郡吉舎町敷地 1787-1
 構造形式 木造平屋建入母屋造 茅葺（覆銅板）
 建築年代 文政2年（1819）《家相図》

佐久間家のある吉舎町は広島県のほぼ中央に位置する。江戸時代、山陰と山陽を結ぶ石見街道は、交通の要所であったことから宿駅として栄えた。

佐久間家は敷地村の割庄屋を務め、屋号は「田淵屋」と称し豪農のかたわら酒、醤油などの醸造業を営み隆盛した。当家の主要建物は文政2年ごろの長平の代に創建されたものと考えられ、現在は17代目にあたり当地に居住している。

建物配置は築地塀で囲まれた広大な屋敷の中央に大規模な主屋が南面して建ち、南側道路の正門と表門を構え北側に酒蔵、味噌蔵、醤油蔵を連ねている。

母屋の屋根は東西棟の茅葺き入母屋造りに箱棟を付け

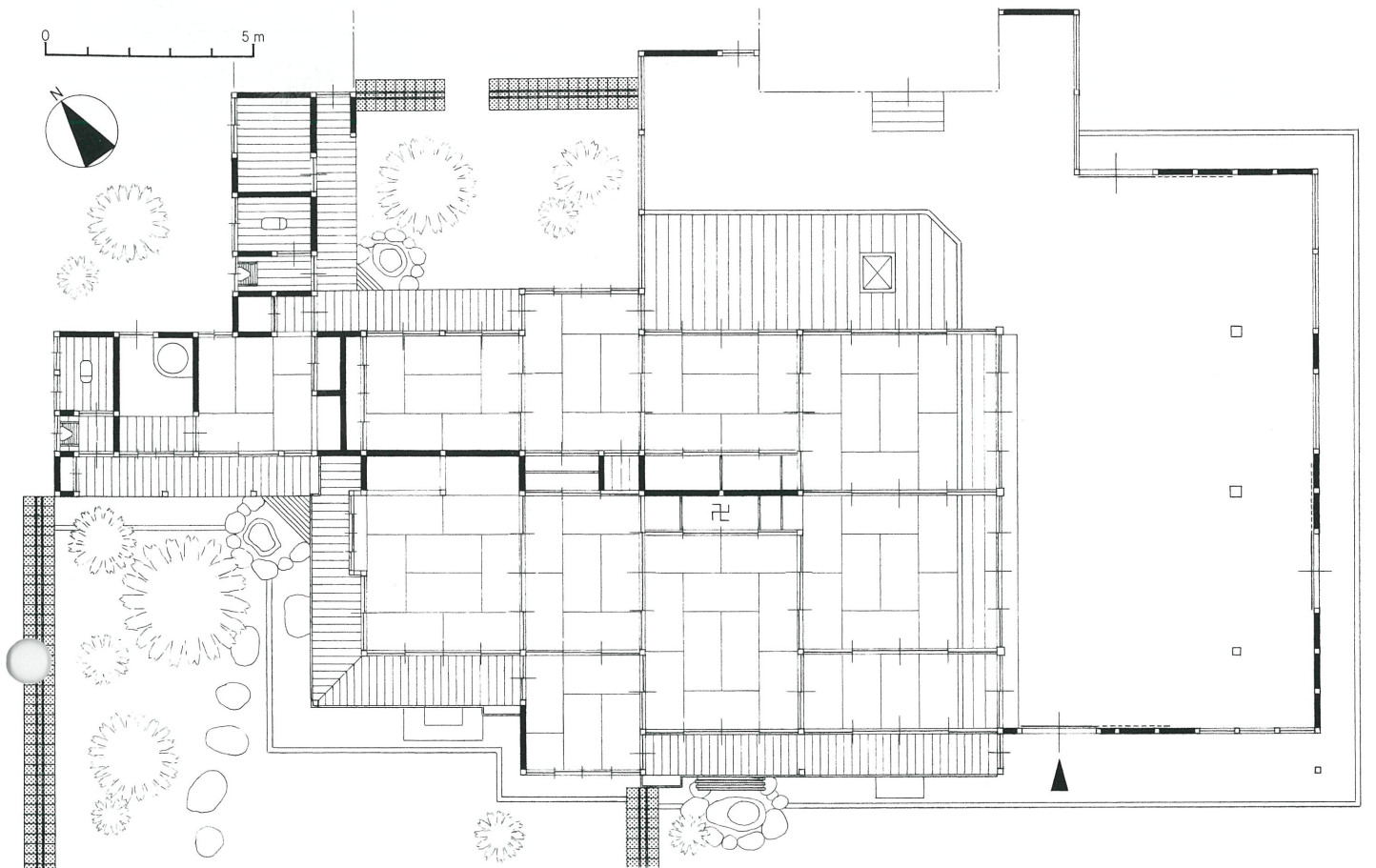
南側に浅瓦葺き下屋庇を出している。

間取りは前面の大戸口を入ると醸造作業のための広い土間、その奥を釜として、変形2列10室の部屋を配する。前列下手から玄関ノ間、表ノ間、仏間、控ノ間、次ノ間、上ノ間とし、後列下手から台所、納戸、中納戸、奥納戸と部屋を配している。

上ノ間の座敷飾りは畳敷床ノ間、欄間付書院を設ける。また上ノ間と次ノ間境に「松」の彫刻欄間を取り付けている。上ノ間、次ノ間、控ノ間は杉面皮柱、薄鴨居に杉面皮長押を回し、棹縁天井に至るまで拭漆塗り仕上げとし数寄屋意匠としている。その他の部屋は柱を差鴨居で固め、棹縁天井と共に黒弁柄塗り仕上げとしている。

佐久間家には文政2年の家相図が残されており、主屋の建築年代がほぼ明確である。家相図は県内に多くは残っておらず創建時の姿を知る上で貴重な資料である。また当家の広い土間上に木太い梁を五重に組み上げた井桁梁組みは圧巻であり、江戸時代後期の大規模豪家として貴重な遺構である。

※「古民家研究会」では、古民家の研究活動をしています。ホームページをご覧ください。



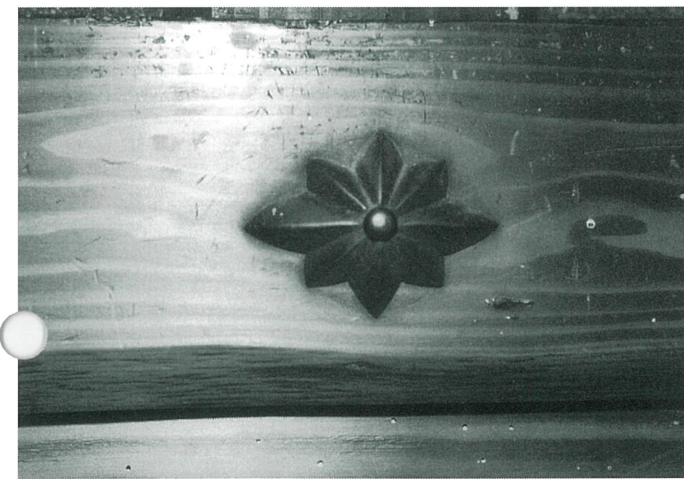
平面図



主屋南面外観



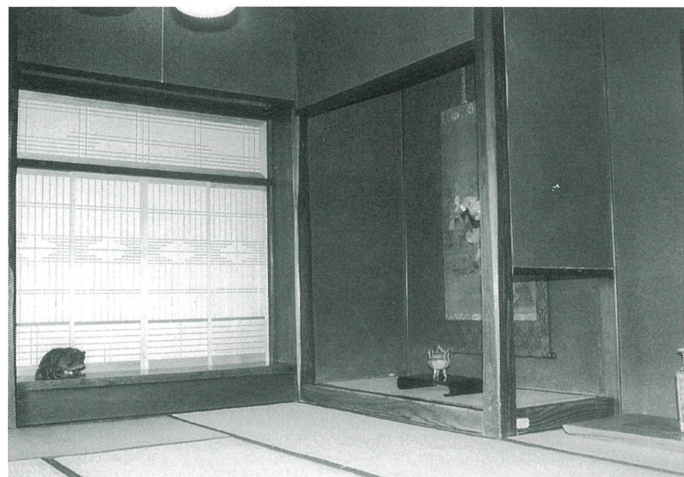
南側道路「薬医門」



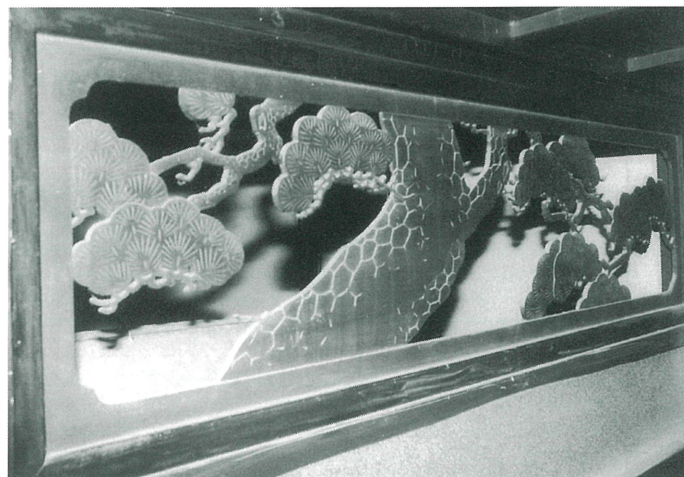
上ノ間「菊菱」釘隠し



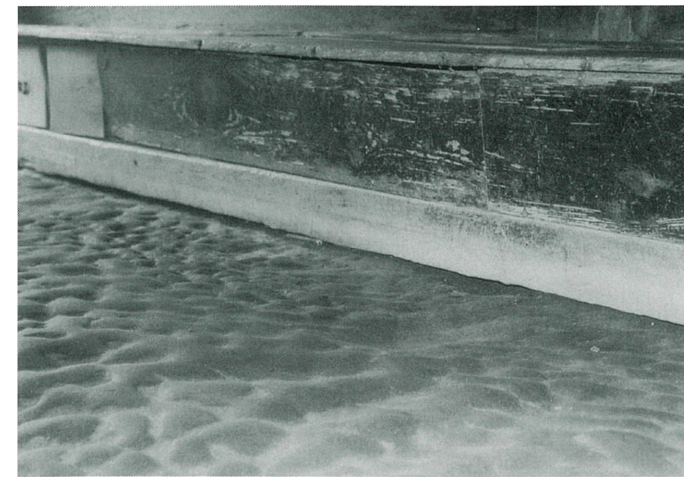
表ノ間「福の神」神棚



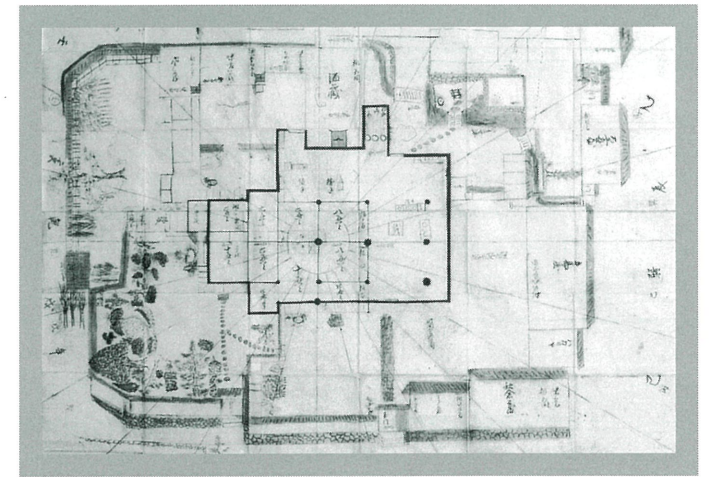
上ノ間 座敷飾り



上ノ間「松」彫刻欄間



土間「三和土」と「上がり縁」



佐久間家「家相図」文政2年